

はてな にくす

No.116 2022.1
ISSN: 0287-8194

目次

読書に親しむ方法 (木原 崇雄)	1
特集展示紹介	2-3
本学の所蔵コレクション	4-5
君に薦める一冊の本 (尾形 健一)	6
工大ウォッチング大賞の発表	7
200字書評と図書館からのお知らせ	8



読書に親しむ方法

工学部 電気電子システム工学科

准教授 木原 崇雄

56回学生生活実態調査(2021年3月8日、全国大学生生活協同組合連合会)によると、約半数の大学生がまったく読書をしないうという。ここでは、考えられる理由1~4に対して私(3~4冊/月を読む)が実践している方法を紹介したい。

1) 本の値段が高い -> 図書館や古本を利用する

学生の皆さんは大学の図書館はもちろん、大阪市立図書館が利用できる。この2つの図書館(と住んでいる自治体の図書館)で蔵書検索すれば、たいていの本は見つかるはず。Webサイトから予約や延長もできて非常に便利だ。借りに行くのが面倒? でも、本を「借りる」と「返す」を同時にできれば、図書館に行く回数が減って楽になる。返却日が近づいてきたら、借りたい本をWebから予約するだけ。

本を手元に置きたい場合は、古本を利用するとよい。実店舗以外にもネットショップ(Amazonマーケットプレイスやメルカリなど)から買える。洋書を買う時は、abebooksやAmazon.comが便利。

2) インターネットで十分 -> 体系的に学ぶには本が優れている

知りたい単語を検索サイト(Googleなど)に打ち込むだけで瞬時にわかる。時間がない時や、得た情報をその場限りで使うだけなら十分。しかし、物事を体系的に学びたい場合は、やはり本が優れている。インターネットで得られる情報は断片的で、すぐに忘れる。さらに、信憑性が疑わしい時もあるので、複数

の情報源にあたり判断する必要がある。それに対して、本は著者とその経歴がはっきりしている(信憑性が著者に依存する)ことに加えて、知りたい事柄とそれに関連することを体系的に学ぶことができる。知識の点が線や面にできると、その記憶が定着し、さらに違う場面で活用もできる。

3) 保管場所や持ち運びに不便 -> タブレットで読む

最近は電子書籍(Kindleなど)として買える本が多くなったので、実践しやすい。それで読めない紙の本はどうするの? 裁断機とスキャナーを買って、PDFとして保存すれば解決。タブレットに何百冊でも保存できて、いつでも読める! スマホで十分? いやいや、やはり画面が広いタブレットの方が読みやすく、さらに講義ノートにもなる(ここ重要)。スマホに使うお金を節約して、タブレットを購入した方がはるかに有益な投資になる。

4) 読む時間がない -> 移動時間に読む

もし電車やバスで大学に来ているならば、その移動時に本を読もう。タブレットを鞆に入れておけば、いつでもどこでもすぐに読める。私は通勤電車が唯一の読書場所(悲しい...)。1日30分が1ヶ月で約10時間(20日/月を仮定)にもなる。そして、習慣になれば、本を読むのも苦ではなくなる。スマホでゲームや動画などを見ている時間を読書時間に変えれば、きっといいことがあるはず。

特集展示

大宮本館

特集展示とは

各キャンパスの図書館展示スペースで、テーマを決めて
図書を紹介しているコーナーです。

資格取得から就職活動、学生生活に役立つものから
話題の本など、様々なテーマで展示しています。

ぜひご覧ください。



3階 ゲート横



3階 第一図書室 特集展示コーナー

ここでは「話題の本」をテーマに、芥川賞、直木賞をはじめ、書店員が選ぶ「本屋大賞」、大阪にゆかりのある作品を選ぶ「大阪ほんまもん大賞」などの受賞作品を中心に展示しています。どのような内容なのかがすぐわかるように紹介文を添えていますので、これらを読んで興味を持った作品があれば、手に取ってご覧になってください。

展示の内容は適宜入れ替えをしているため、図書館にご来館の際は、ぜひチェックしてみてください。
新しい図書との出会いが待っています。

今回の特集展示「心の健康」では、大学生を対象の自己啓発、心理学、医学系を中心とした図書を展示しています。

多くの大学生が自己形成に向かって成長していく中で心の問題をかかえ、情報社会の中で多様な不安を感じていると思います。

その中でも、「メンタルヘルス」の知識を深めてもらい、前向きな気持ちで積極的に大学生活を送ってもらえるような図書を集めました。

来館の際は、ぜひ手に取ってご覧ください。

梅田分館、枚方分館においてもさまざまな展示を行っています。
今後も一年を通し、盛りだくさんの展示を企画中です。

梅田分館

枚方分館



6階 メディアテーク入口横



3階 検索コーナー横

梅田分館では蔵書の特徴を活かした特集展示を開催しています。

学生の関心を惹き、学びの助けとなるようなテーマを選定し、書架にある状態では手に取られることが少ない資料や、新たな分野への足がかりとなるきっかけ作りを心掛けています。

定期的に展示のテーマが替わりますので、チェックしてみてください。入口付近には、ライブラリーサポーターが選書した図書を集めたコーナーもありますので、新たな本と出会えるかもしれません。

ご来館お待ちしております。

大学では専門分野など定めた研究テーマを突き詰めて学ぶことに加えて、TOEIC や IT パスポートなどの資格試験に挑戦することや、就職活動に向けて準備をすることも大切です。

しかし、資格試験や就職関連の図書は種類が多く、どんな本を選ぶべきか悩んでしまう方もいるのではないのでしょうか。

枚方分館ではそんな学生の皆さんのために、年間を通して TOEIC 編、資格試験編、就職活動編などのジャンルに分けて、定期的に展示しています。

どうぞご活用ください。

本学の所蔵コレクション

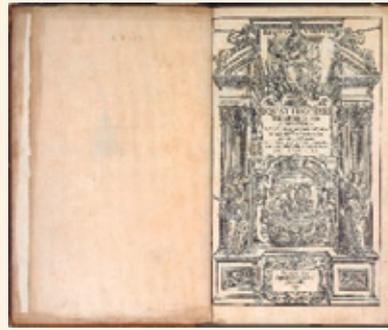
記念図書とは

1980年9月工大独立図書館の竣工を記念して、東洋・西洋の建築学関係の図書、特に建築史を中心に充実を図りました。東洋建築については、日本、中国、朝鮮の三カ国の社寺に関する図書を、新刊書—古書を問わずあらゆる方面から収集したため、この分野の図書はほぼ完全に網羅されています。

また、西洋建築は、ルネッサンス建築に関する図書資料を可能な限り収集しています。



"A Treatise of The Five Orders of Columns in Architecture" 「建築における円柱の五つの様式」
クロード・ペロー著 1708年
資料ID：64175858
請求記号：520



"I quattro libri dell'architettura" 「建築四書」
アンドレア・パッラディオ著
1570年
資料ID：64175856
請求記号：520

本書はクロード・ペロー（1613-1688）によってフランス語で書かれた物を、1708年英語で翻訳した初版です。

この著作は、五つの様式の柱礎、円柱、長押（なげし）の調和と特性をとりあげたもので、古代から近世の建造物を実測し、研究記述されています。

著者のパッラディオ（1508-1580）は、イタリア、ルネサンス末期の最も優れた建築家であり、北イタリアで活躍し、多くの優れた建築作品を残しています。彼は世界各地の建築様式に永続的な影響を与えましたが、それは彼の建築実作とともにこの名著「建築四書」によるものと言われています。

玉置文庫とは

玉置豊次郎先生（1899-1984）は1923年（大正12年）東京帝国大学工学部建築学科を卒業後、1956～1979年（昭和31～54年）の23年間にわたり大阪工業大学建築学科の教授として教育・研究に従事されました。

この間、優秀な人材を多数育成され、1969年には勲四等瑞宝章に叙勲されました。

1984年（昭和59年）にご逝去された後、ご遺志によりご寄贈された蔵書です。



白木屋の大火
1933：
白木屋編
資料ID：
18607070
請求記号：317

以下、抜粋

1932年（昭和7年）東京日本橋にあったデパート白木屋で起きた大火災は近代的ビルディングでの火災の恐ろしさと上層階からの避難と救助の困難さを知らしめるものでした。写真に写っている消防関係者は半纏（はんてん）姿で手にはさまざまな組の纏（まとい）が握られています。まだこの時代は近代消防といえど町火消しのスタイルが色濃く残されていたことがわかります。

工大コレクション展示とは

当館所蔵コレクションの「記念図書」「玉置文庫」の図書を定期的に公開・展示しています。

稀少な図書や歴史的に価値のある図書など、普段目にする機会が少ないものも多数あります。

図書館 HP から
もご覧いただけます。



● 現在の工大コレクション展示

2021年9月1日～2022年2月28日まで

「国宝 犬山城」を開催しています。

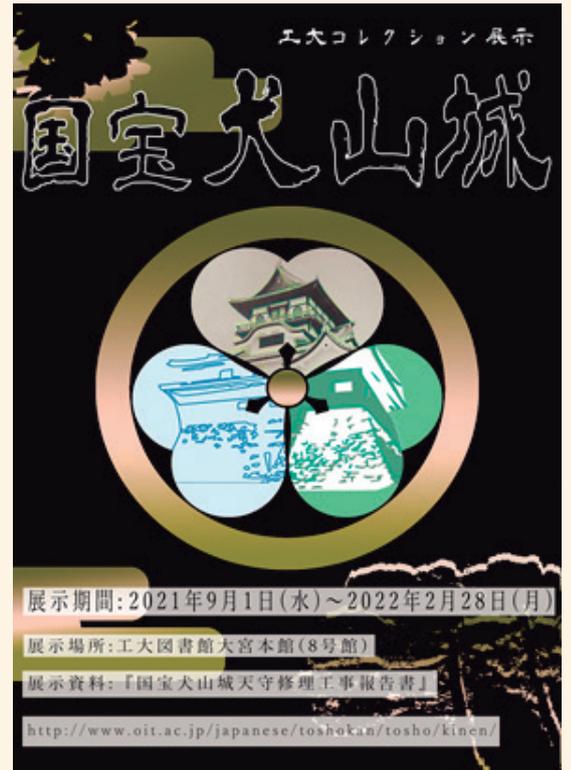
日本全国各地には多くの名城、城跡、天守が残っています。

その名城の中でも、犬山城は1935年（昭和10年）国宝に指定されました。1965年（昭和40年）に行われた、解体調査の内容が記載された資料「国宝犬山城天守修理工事報告書」を展示しています。

この展示は、図書館HPでもご覧いただけます。



◀ 展示風景



▲ ポスター

図書館HPはこちら ▶ 図書館HP > 本学の所蔵コレクション > 工大コレクション展示 > 犬山城
https://www.oit.ac.jp/japanese/toshokan/tosho/kinen/inuyama_2021/

● 過去の工大コレクション展示

工大コレクション展示では、これまでに多くのコレクションを展示してきました。

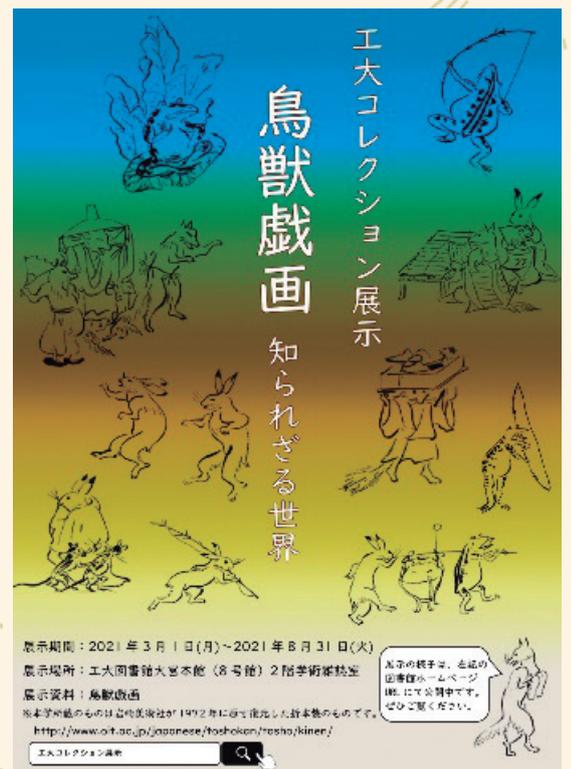
右図は2021年3月1日～2021年8月31日まで行っていた「鳥獣戯画 知られざる世界」のポスターと展示風景です。

過去の展示ポスターは図書館HPの「本学の所蔵コレクション」からも閲覧できます。図書館HPはこちら ▼

図書館HP > 本学の所蔵コレクション > 工大コレクション展示
<https://www.oit.ac.jp/japanese/toshokan/tosho/kinen/>



◀ 展示風景



▲ ポスター

君に薦める 一冊の本



教務部 教育センター
講師 尾形 健一

新型コロナウイルス感染症に関して多くの書籍が出版されています。この本にはポストコロナ期＝コロナ禍が収束した世界で「生き延びるために」何を準備すればいいのか、そのことを考えるために多様な年代・立場の方の論考が記されています。(PCR検査等の感染症対策は触れられていません。)

この本が出版された2020年を簡単に振り返ってみましょう。コロナ禍で初めての緊急事態宣言が出された4月7日の大阪府の感染判明者数は53人。その頃布製の小さなマスクが1世帯に2枚ずつ配布されました。キャンパスから多くの学生の姿が消えオンライン講義がメインとなりました。「うそみたいな本当の話」としてうがい薬が話題になったこともありました。) 現在の世界に目を移せば累積感染者数および累積死亡者数はそれぞれ2億人、400万人を超え、日本でも累積死亡者数は2万人近くになろうとしています。毎日の生活でマスクをするのが普通になり、友だちと騒いだりすることや旅行が自由にできなくなりました。まえがきで内田樹はこれらを「ウイルス一つによって、わずか数ヶ月の間に、ほんの昨日までこの世界の「常識」だと思われていたことのいくつかが無効を宣告されました。」と述べています。この本ではコロナウイルスによって変わってしまった世界にどう対応していくかについて様々な切り口から複数の意見が述べられています。どれか1つでも共感する点があり、深く考

『ポストコロナ期を生きる きみたちへ』



【大宮本館】

配置場所 | 工大君に薦める

請求記号 | 304IUU

資料ID | 91211125

著者名 | 内田 樹 編

出版社 | 晶文社

出版年 | 2020年

えるきっかけになればいいと思います。

少しだけ内容を紹介します。ポピュラー音楽研究の増田聡は学生からの「椎名林檎になるための方法を教えてくれる学校はどこにあるのか」という質問に対し「大学はどうあるべきか」という観点から否定的な返答をした例を紹介しています。椎名林檎になる方法を教える学校がないのと同じくコロナ禍の解決策は「まだ」ありません。コロナ禍に限らず「問題を解決すること」は誰かが教えてくれるのではなく、自分の知性をもとに導き出さなければなりません。そのような営みこそが「知」の仕事であり大学でなすべきことと増田は主張します。

ベストセラーとなった『人新生の「資本論」』の斎藤幸平は環境問題がコロナ禍と同様現代社会が引き起こしたものであるとの認識のもと「ポストコロナの時代には、大人たちに助言を求めるのは止めたほうがいい。(中略)大人たちだって、これから作らねば新しい社会の答えを知らないのだ。(中略)答えがわからないからこそ、一から一緒に、みんなで考えようという姿勢が、ますます大事になる。」として未来をつくるZ世代への期待を表しています。

女性や理工系の論者が少ない、海外からの視点が少ないなどの批判はありますが、上記2人を含め20人の論者からのラジカルなメッセージのなかにきっと知的な好奇心を揺さぶるものがあると思います。

2021年度

工大 ウォッチング 大賞

今年「図書館を紹介するポスター」をテーマに募集を行い、15件の応募がありました。図書館運営委員会の厳正なる審査の結果、受賞作品が決定しました。12月1日には梅田分館で「工大ウォッチング大賞授賞式」を行い、大宮本館と枚方分館で中継配信しました。



授賞式後の記念写真

工大ウォッチング大賞とは、学生の皆さんが思い描く「工大」のイメージを若い感性と自由な発想で表現してもらい、多くの人たちに工大の良さを再発見してもらうことを目的としたイベントです。

大賞

中村翔太さん
ロボティクス&
デザイン工学専攻
博士前期2年

「本は、世界とつながる」
本の中には世界が広がっている。本は世界につながる扉。本に手を伸ばし、ページをめくることは未だ見ぬ世界への冒険だ。



優秀賞

坪井杏奈さん
空間デザイン学科4年

「ほっと一息」
梅田キャンパスのラーニング
commons、図書館と同じフロア
にあるキャンパスフォレストで
のほっと一息をきっかけに、
ラーニングcommonsと図書館
も気軽に利用して欲しいと
いう思いで制作しました。



佳作

碓井厚希さん
空間デザイン学科3年

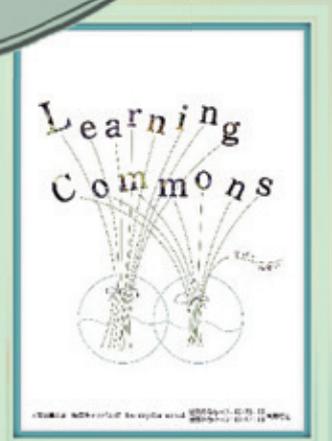
「さまざまな学科が集う
OIT」
(ラーニングcommonsを)
様々な学生が集まる場所だ
と捉え、各学科の略称が集
合し、遠くから見るとOITが
浮かび上がるデザインにし
ました。



Library賞

林駿介さん
空間デザイン学科4年

「学びと出会い」
学科に関係なくお互いの
持つ情報を共有できる場を
「花束」に置き換えて表現
しました。



200 字書評

図書館で日々活躍中のライブラリーサポーターが原稿用紙半分で皆さんにおすすめしたい本を紹介します。図書館で所蔵していますので、是非ご覧ください。

『むらさぎのスカートの女』

今村 夏子 (朝日新聞出版 2019年)

本書は、近所の孤独な変わり者、「むらさぎのスカートの女」に興味を持つ語り手の「わたし」による観察手記である。「わたし」は「女」を見下しつつも一挙一動を淡々と綴る。

物語が進むにつれ、「女」に認識されないまま「女」の行動を誘導し、「女」を観察することだけに執心して生きる「わたし」の異常さが際立っていく。語り手と読み手との心情が徐々に乖離していく様に不気味さを感じ、読む手が止まらなくなる、怪作。

情報科学部 情報知能学科 4年

繁戸 美紀子さん



枚方分館
配置場所：工枚一般図書
請求記号：913.6||I
資料 ID：98190582
(大宮本館にも所蔵がございます。)

『嫌われる勇氣―自己啓発の源流「アドラー」の教え』

岸見 一郎 / 古賀 健史 (ダイヤモンド社 2013年)

本書は、アルフレッド・アドラーの思想(アドラー心理学)を「青年と哲人との対話」という形式を用いてまとめられています。この本を読み、自分の持つ人生観や価値観にある種の強烈なインパクトを受けました。

人生、人との関わり方、自分に対しての見方が変わると思います。多くの人に当てはまると感じたので、騙されたと思いき、是非読んでみてください。

自分のことが好きになれない、自信が持てないという方にはおすすめの1冊です。

情報科学部 情報知能学科 3年

渡辺 一貴さん



枚方分館
配置場所：工枚一般図書
請求記号：146.6||K
資料 ID：98141522
(大宮本館・梅田分館にも所蔵がございます。)

ライブラリーサポーター 募集中

ライブラリーサポーターのメンバーを随時募集しています。ライブラリーサポーターとは、学生の皆さんにとって魅力ある図書館を作るために、イベントや展示の企画や実行を行うボランティアです。活動に興味のある方は各館の図書館スタッフへお気軽にお尋ねください! また、My Libraryの「サポーター応募フォーム」からも応募可能です。

大宮本館 3階 メインカウンター
☎ 06-6954-4108
梅田分館 6階 支援カウンター
☎ 06-6147-6295
枚方分館 3階 カウンター
☎ 072-866-5312



図書館からのお知らせ

選書フェアを開催しました!

2021年は特設会場で大宮本館は11月1日~10日、枚方分館は11月12日~19日、梅田分館は11月22日~30日に開催しました。Webでの応募は11月1日~1月4日まで受付しました。ご応募いただいた皆様ありがとうございました。

大宮本館



枚方分館



梅田分館



大阪工業大学図書館報「ぱびろにくす」No.116 (2022.1)

編集発行 大阪工業大学図書館

〒535-8585 大阪市旭区大宮5丁目16-1

TEL 06-6954-4108

FAX 06-6953-9499



図書館公式 Twitter
@OIT_Lib